

こうち みさと  
**高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業**

**事業再評価(要点審議)**

令和5年12月7日



**国土交通省四国地方整備局**

## (1) 事業の目的

- 貨物需要の増大に伴うバース及びストックヤードの不足や船舶の大型化に対応するとともに、大規模地震発生時の緊急物資輸送拠点とすることを目的とする。

## (2) 事業内容

事業期間: 昭和57年度～令和11年度

事業費: 1,460億円

構成施設: 岸壁(-8m), 岸壁(-11m)(耐震),  
岸壁(-12m)①, 岸壁(-12m)②, 護岸(防波),  
航路泊地(-12m), 泊地(-8m), 防波堤(東第一),  
防波堤(南), 埠頭用地, 荷役機械, 臨港道路

## (3) 前回評価(平成30年度)からの変更

項目	前回評価 (平成30年度)	今回評価 (令和5年度)
事業期間	昭和57年度～ 令和7年度	<u>昭和57年度～ 令和11年度</u>
事業費	1,391億円	<u>1,460億円</u>



## (4) 需要の見込み

- ・「**輸送コストの削減**」に関する需要  
(令和8年予測取扱貨物量)  
コンテナ: 1.0万TEU※/年  
(前回評価から変化なし)

- 本事業の整備により、他港を経由して輸送していたコンテナ貨物が高知港より直接輸送することが可能となる。

バルク : 154万トン/年  
(前回評価から変化なし)

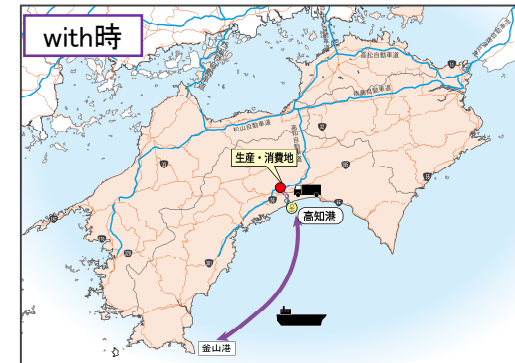
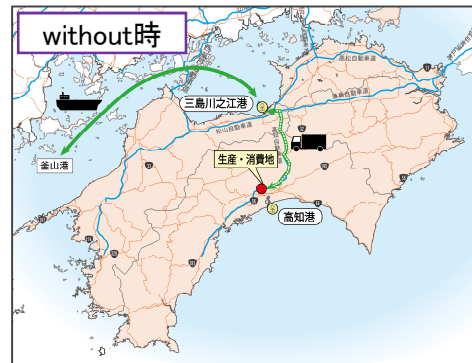
- 本事業の整備により、他港を経由して輸送していたバルク貨物が高知港より直接輸送することが可能となる。

- ・「**海難の減少**」に関する便益  
避難可能隻数: 6隻  
(前回評価から変化なし)

- ・「**外航クルーズ船の入港**」に関する便益  
寄港隻数: 55隻  
(前回評価から変化なし)

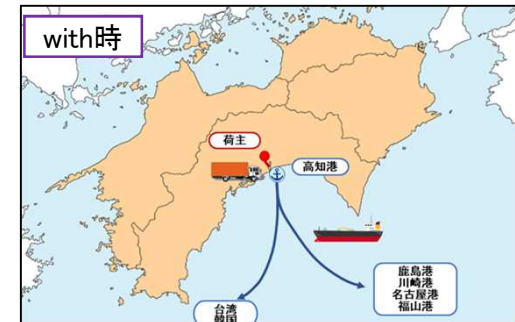
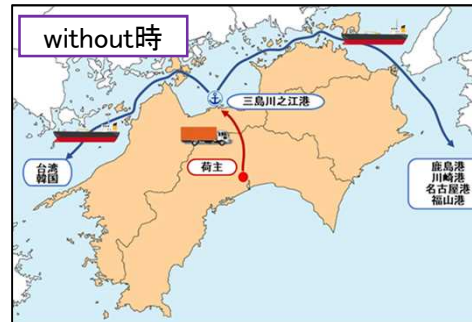
- 本事業の整備により、外航クルーズ船の入港が可能となり、訪日外国人観光客が観光ツアーへの参加や物品購入を行うことにより国際観光収益が増加する。

外貨コンテナ

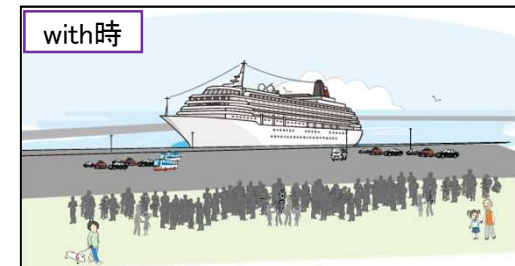
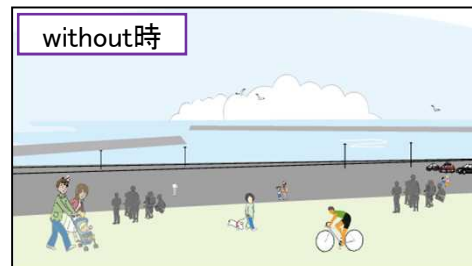


※TEU：20フィートの海上コンテナに換算した貨物の量を表す単位  
(20フィートコンテナ1個を1TEU)

石灰石(移出)



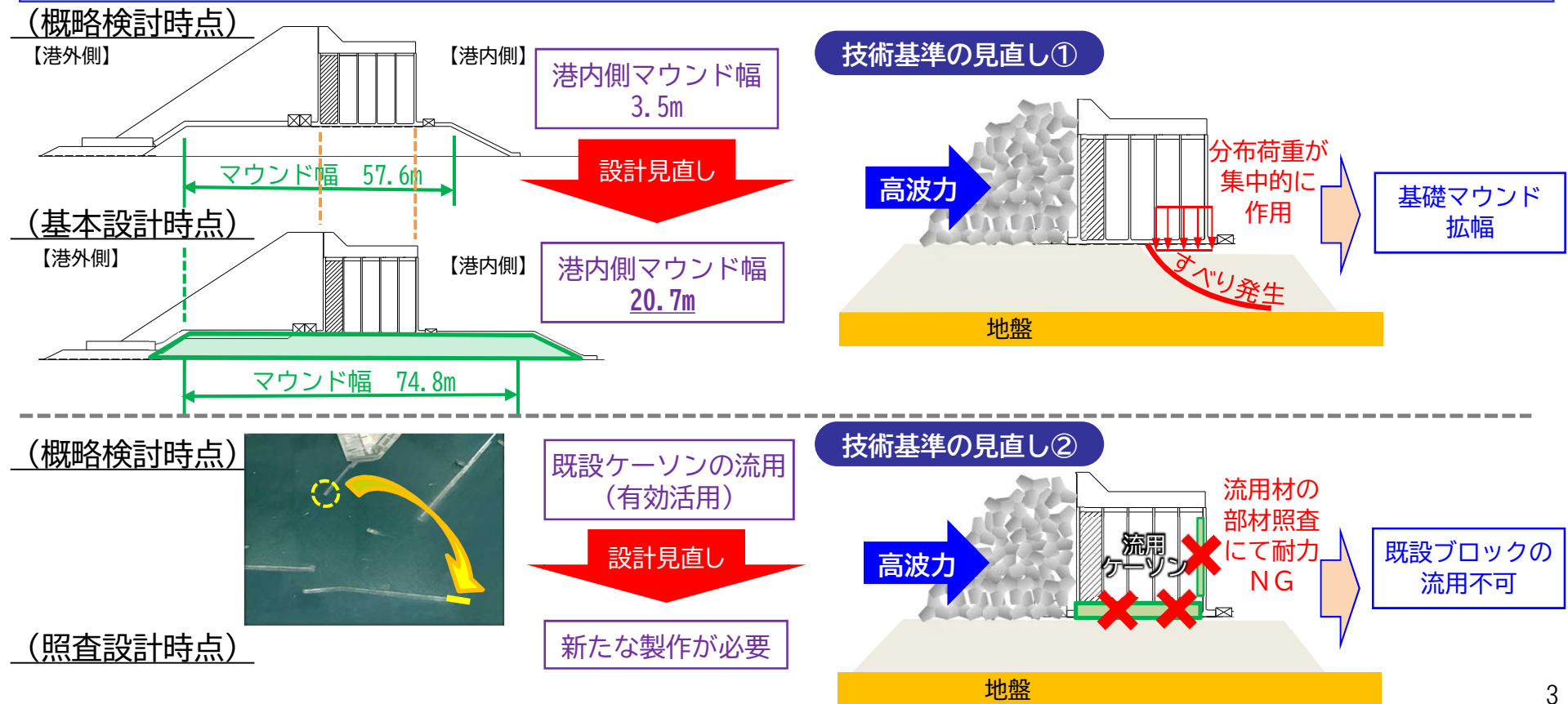
外航クルーズ船



## (5) 事業費の変化

### ◆設計断面の変更 【69億円増】

- 平成30年度の設計基準（港湾の施設の技術上の基準）の改訂に伴い、基礎マウンドの拡幅が必要となり、事業費が増加。（約42億円）
- 同じく設計基準の改訂により、コスト削減策で見込んでいた既設ケーソンの流用（有効活用）ができなくなり、新たな製作の必要性から事業費が増加。（約27億円）
- 以上より、**69億円の増加**が生じた。



## (6) 事業期間の見直し

### ◆ 施工量の増加による事業期間の延伸【4年延伸】

- 高知港は外洋に面し、台風の常襲地であることから、基礎捨石マウンド造成、ケーソン据付、消波ブロック据付といった一連の海上工事は台風期（8月～10月）を除く11月～翌年7月までに完了させる必要があるが、設計断面の拡幅により、断面当りの施工量が増加したため、年間の施工可能延長が短くなった。
- 以上より、工程サイクルを見直す必要が生じたため事業期間を **4年延伸** する。

前回評価(平成30年度)

施設名	2017迄 平成29年度迄	2018 平成30年度	2019 令和1年度	2020 令和2年度	2021 令和3年度	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度
防波堤(南)									

事業期間**4年延伸**

今回評価(令和5年度)

施設名	2017迄 平成29年度迄	2018 平成30年度	2019 令和1年度	2020 令和2年度	2021 令和3年度	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度	2029 令和11年度
防波堤(南)													



## (7) 投資効果

- ・便益(B)※1 : 事業全体 4,986億円 残事業 603億円(前回評価)
- ・費用(C)※2 : 事業全体 3,238億円 残事業 107億円(前回評価)
- ・費用便益比(B/C) : 事業全体 1.5 残事業 5.6(前回評価)

※1 金額は、完成後50年間の便益額として現在価値化した数値。

※2 基準年における現在価値化した数値。

## (8) コスト縮減への取り組み

- ・防波堤(南)の整備には、既設消波ブロックの流用(有効活用)によりコスト縮減を図っている。

## (9) 事業の進捗の見込み等

- ・**進捗率：93% 令和5年度末**  
(前回評価：92%)
- ・**令和11年度完成に向け着実な事業進捗を図る。**  
(前回評価：平成37年度(令和7年度)完成予定)

## (10) 県知事の意見

- ・事業継続に異議はありません。

## (11) 対応方針(原案)

- ・以上のことから、高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業を継続する。

